

インデックスファンド海外債券（ヘッジあり）1年決算型 〈愛称 DC インデックス海外債券（ヘッジあり）〉

追加型投信／海外／債券／インデックス型

交付運用報告書

第24期（決算日2025年10月27日）

作成対象期間（2024年10月29日～2025年10月27日）

| 第24期末（2025年10月27日） | |
|--------------------|---------|
| 基準価額 | 10,829円 |
| 純資産総額 | 522百万円 |
| 第24期 | |
| 騰落率 | △ 0.1% |
| 分配金（税込み）合計 | 0円 |

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「インデックスファンド海外債券（ヘッジあり）1年決算型」は、2025年10月27日に第24期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界各国の債券に実質的な投資を行ない、「FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）」の動きに連動する投資成果をめざして運用を行なっておりま

した。ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<958450>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

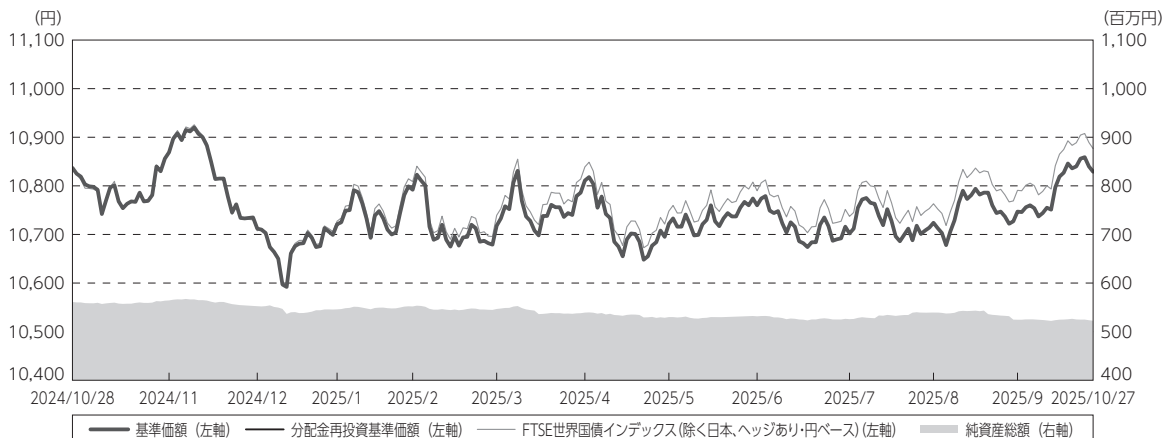
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年10月29日～2025年10月27日)



期首：10,837円

期末：10,829円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 0.1%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は、期首（2024年10月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主に、「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国政権が貿易相手国に対して幅広く関税を引き上げる方針を含む相互関税を発表し、世界景気の悪化が懸念されたこと。
- ・米国雇用の悪化懸念などを背景に米国連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを行ない、また追加利下げに期待が高まったこと。
- ・英国、スウェーデン、カナダ、ノルウェー、オーストラリアなどの中央銀行が利下げを実施したこと。

<値下がり要因>

- ・米国において新政権が誕生し政治的不透明感が後退したことや、米国新政権による財政拡張への警戒感が強まったこと。
- ・ドイツの次期政権樹立に向けて連立交渉中の政党が防衛費増額と成長回復に向けてインフラ基金の創設と借り入れ規則の全面見直しで合意し国債増発への警戒感が強まったこと。
- ・欧州中央銀行（ECB）総裁による金融緩和局面の終了が近いとの発言を受けてECBによる追加利下げ期待が後退したこと。

1万口当たりの費用明細

(2024年10月29日～2025年10月27日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 51 | 0.472 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (16) | (0.150) | 委託した資金の運用の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | (31) | (0.285) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | (4) | (0.036) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 3 | 0.025 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 保 管 費 用 ） | (2) | (0.021) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ） | (0) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合 計 | 54 | 0.497 | |
| 期中の平均基準価額は、10,756円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

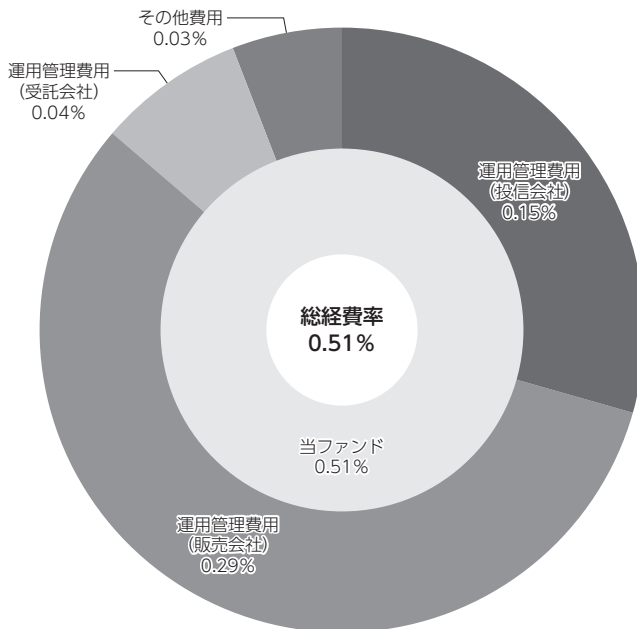
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○**総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.51%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

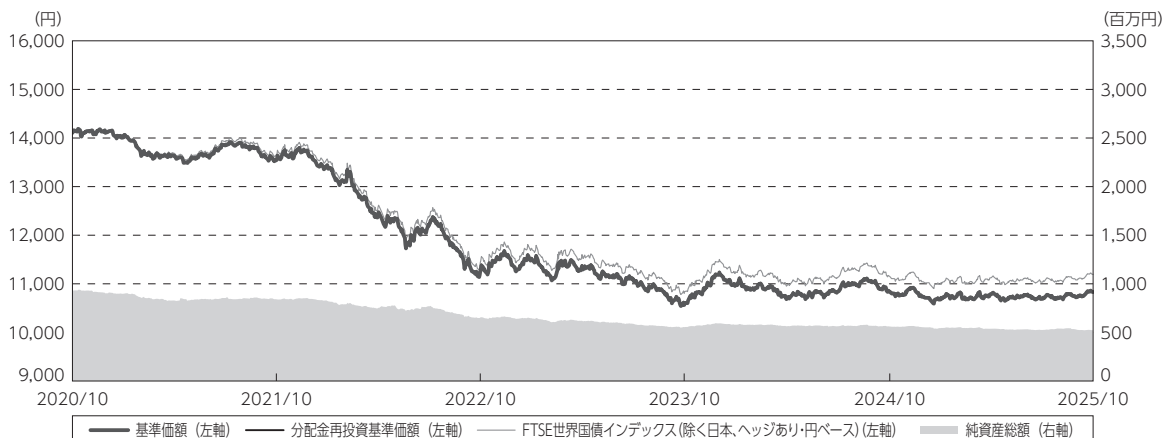
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年10月26日～2025年10月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は、2020年10月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2020年10月26日 決算日 | 2021年10月26日 決算日 | 2022年10月26日 決算日 | 2023年10月26日 決算日 | 2024年10月28日 決算日 | 2025年10月27日 決算日 |
|--|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額 (円) | 14,105 | 13,543 | 11,257 | 10,563 | 10,837 | 10,829 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 10 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | △ 3.9 | △ 16.8 | △ 6.2 | 2.6 | △ 0.1 |
| FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジあり・円ベース)騰落率 (%) | — | △ 3.2 | △ 16.2 | △ 5.5 | 3.2 | 0.4 |
| 純資産総額 (百万円) | 931 | 841 | 653 | 553 | 560 | 522 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

(2024年10月29日～2025年10月27日)

(海外債券市況)

海外債券市場では、米国、ドイツ、英国など各国の10年国債利回りは、期間の初めと比べてまちまちの動きとなりました。

期間の初めから2025年1月上旬にかけては、欧州連合（EU）加盟国が防衛のための共同資金について協議しており、拠出金増のため債券市場を活用する可能性があるとの報道が警戒されたことや、利下げを実施したFRBが今後の利下げペースについて鈍化の見通しを示したこと、米国において新政権が誕生し政治的不透明感が後退したこと、米国新政権による財政拡張への警戒感が強まったことなどから、各国の10年国債利回りは総じて上昇（債券価格は下落）しました。1月中旬から期間末にかけては、ドイツの次期政権樹立に向けて連立交渉中の政党が防衛費増額と成長回復に向けてインフラ基金の創設と借り入れ規則の全面見直しで合意し国債増発への警戒感が強まったことや、米国の格付け会社が米国の信用格付けを最上位から1段階引き下げると発表したこと、ECB総裁による金融緩和局面の終了が近いとの発言を受けてECBによる追加利下げ期待が後退したことなどが利回りの上昇要因となる一方で、米国政権が貿易相手国に対して幅広く関税を引き上げる方針を含む相互関税を発表し、世界景気の悪化が懸念されたことや、米国雇用の悪化懸念などを背景にFRBが利下げを実施し、また今後の追加利下げに期待が高まったこと、英国、スウェーデン、カナダ、ノルウェー、オーストラリアなどの中央銀行が利下げを実施したこと、米国において議会の予算成立が遅れ、政府機関の一部閉鎖などの混乱が生じたことなどが利回りの低下（債券価格は上昇）要因となり、各国の10年国債利回りはまちまちの動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年10月29日～2025年10月27日)

(当ファンド)

当ファンドは、「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド)

債券のリスクコントロールモデルによりベンチマーク採用国の債券の中からポートフォリオを構築し、運用を行ないました。また、ベンチマーク採用銘柄の入替などに対応するために、随時ポートフォリオの見直しを行ない、債券の組入比率を高位に維持し、ベンチマークとの連動性を保つように努めました。外貨建資産は、原則として100%程度の為替ヘッジを行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年10月29日～2025年10月27日)

期間中における基準価額は、0.1%の値下がりとなり、ベンチマークである「FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）」の上昇率0.4%を概ね0.4%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

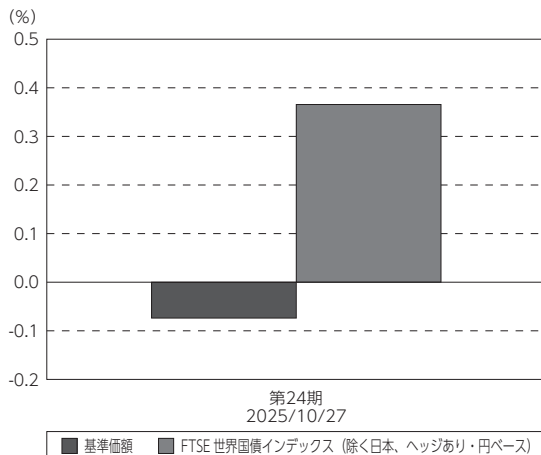
<プラス要因>

- ・ 国別配分効果。

<マイナス要因>

- ・ 銘柄選択効果。
- ・ 債券取引に関する要因。
- ・ 為替取引に関する諸費用。
- ・ 外国口座の管理費用。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

(2024年10月29日～2025年10月27日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第24期 |
|-----------|-----------------------------|
| | 2024年10月29日～ 2025年10月27日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 7,097 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド）

引き続き、これまでの運用方針を維持します。原則として債券のリスクコントロールモデルを利用してポートフォリオを構築し、ポートフォリオの金利感応度などの属性をベンチマークと同程度に保ち、連動性を高めるように努めます。また、ベンチマーク採用銘柄の入替などに対応するために、毎月ポートフォリオの見直しなどを行なうとともに、債券組入比率を高位に維持する方針です。外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2024年10月29日から2025年10月27日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第56条の2）

当ファンドについて、委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更したため、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第1条、第16条）

<運用報告書の電子交付に関するご案内>

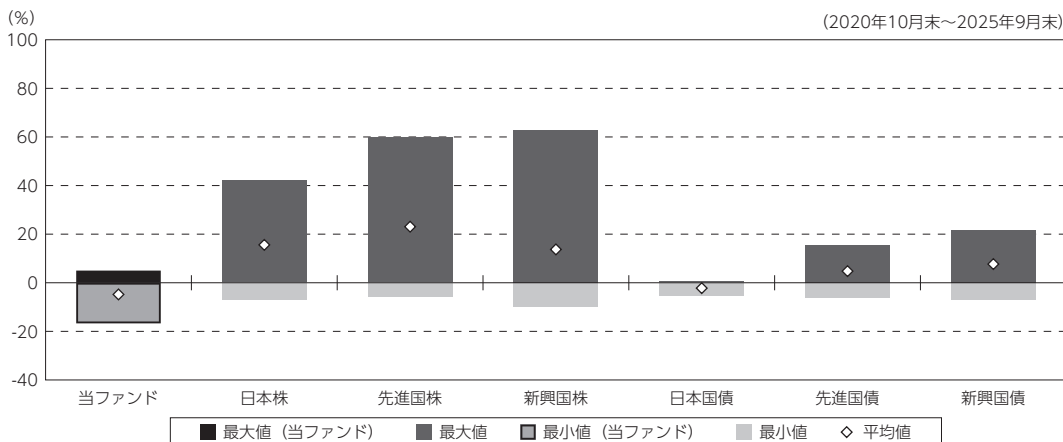
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正（施行：2025年4月）が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供に取り組んでまいります。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|---|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券／インデックス型 | |
| 信託期間 | 2001年10月17日から原則無期限です。 | |
| 運用方針 | 主として「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | インデックスファンド海外債券（ヘッジあり）1年決算型 | 「海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド | 内外の公社債を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 主として、世界各国の債券に実質的な投資を行ない、「FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）」の動きに連動する投資成果をめざします。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。 | |
| 分配方針 | 毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 5.0 | 42.1 | 59.8 | 62.7 | 0.6 | 15.3 | 21.5 |
| 最小値 | △ 16.7 | △ 7.1 | △ 5.8 | △ 9.7 | △ 5.5 | △ 6.1 | △ 7.0 |
| 平均値 | △ 4.8 | 15.6 | 23.1 | 13.7 | △ 2.2 | 4.8 | 7.7 |

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年10月から2025年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）配当込み

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのベンチマークについて

●FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジあり・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。

指数について

●TOPIX（東証株価指数）配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するのではなく、対象インデックスを用いて行われるアモウヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年10月27日現在)

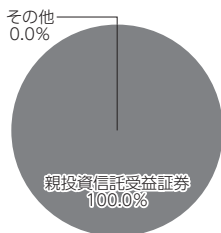
○組入上位ファンド

| 銘柄名 | 第24期末 |
|--------------------------|--------|
| 海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド | 100.0% |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 |

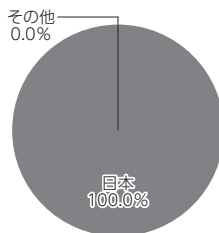
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

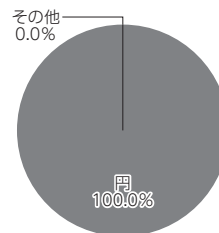
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

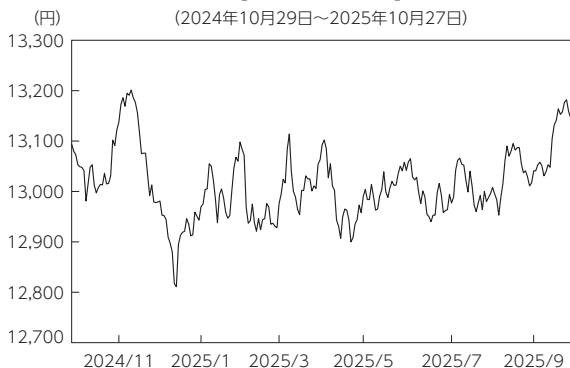
| 項目 | 第24期末 |
|------------|--------------|
| | 2025年10月27日 |
| 純資産総額 | 522,470,589円 |
| 受益権総口数 | 482,461,140口 |
| 1万口当たり基準価額 | 10,829円 |

(注) 期中における追加設定元本額は72,207,613円、同解約元本額は107,362,396円です。

組入上位ファンドの概要

海外債券インデックス（ヘッジあり）マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年10月29日～2025年10月27日)

| 項 目 | 当 期 | |
|------------------------------|----------|------------------|
| | 金 額 | 比 率 |
| | 円 | % |
| (a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 3 (3) | 0.021 (0.021) |
| 合 計 | 3 | 0.021 |

期中の平均基準価額は、13,025円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2025年10月27日現在)

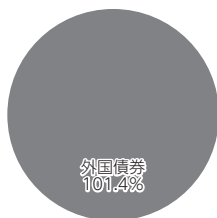
| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|-------------------------------------|--------|--------|-------|------|
| 1 US TREASURY N/B 2% 2026/11/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 2.0% |
| 2 US TREASURY N/B 0.5% 2027/4/30 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.3% |
| 3 US TREASURY N/B 1.5% 2030/2/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.2% |
| 4 US TREASURY N/B 0.625% 2027/11/30 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.0% |
| 5 US TREASURY N/B 4.625% 2030/9/30 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.0% |
| 6 US TREASURY N/B 2.375% 2029/5/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 1.0% |
| 7 US TREASURY N/B 4.125% 2032/11/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 0.9% |
| 8 US TREASURY N/B 2.875% 2028/8/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 0.9% |
| 9 US TREASURY N/B 4% 2030/2/28 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 0.9% |
| 10 US TREASURY N/B 2.375% 2027/5/15 | 国債証券 | アメリカドル | アメリカ | 0.9% |
| 組入銘柄数 | | 428銘柄 | | |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

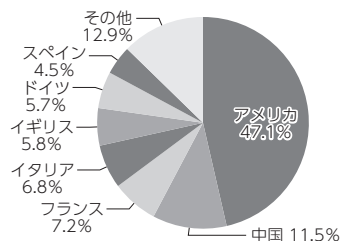
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

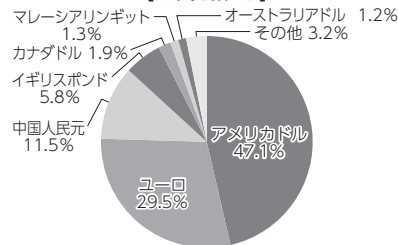
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。